



平成31年2月20日

## 第26回釧路開発建設部総合評価審査委員会の審議概要について

平成30年12月19日（水）に開催された、第26回釧路開発建設部総合評価審査委員会の審議概要を別紙のとおりお知らせします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部  
技術管理課 課長 熊谷 吉伸 電話：0154-24-7147  
技術管理課 課長補佐 芳賀 聡 電話：0154-24-7174  
釧路開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>



## 第 26 回 釧路開発建設部総合評価審査委員会 審議概要

開催日・場所	平成30年12月19日（水） 釧路地方合同庁舎 5階 共用会議室	
委員	岸 徳光（室蘭工業大学大学院 工学研究科 特任教授） 草苺 敏夫（釧路工業高等専門学校 副校長） 白石 悟（北海道科学大学 工学部 都市環境学科 教授）【委員長】 三上 修一（北見工業大学 社会環境工学科 教授） 宗岡 寿美（帯広畜産大学 環境農学研究部門 教授） <span style="float: right;">（五十音順）</span>	
議事	1 報 告 (1) 平成30年度総合評価落札方式の実施状況（H30. 5. 1～H30. 9.30）について 2 審 議 (1) 平成30年度総合評価落札方式の実施結果について ①釧路港築堤（中）建設工事（施工能力評価型 I 型） (2) 平成30年度建設コンサルタント業務におけるプロポーザル方式及び総合評価落札方式の実施結果について ①釧路道路事務所管内 橋梁耐震設計外一連業務（標準プロポーザル） ②釧路川水系河川水位予測システム検討外業務（簡易公募型プロポーザル） ③阿寒地区 区画整理阿寒第1工区設計等業務（簡易公募型競争入札・総合評価落札方式（簡易型））	
<b>委員からの意見・質問、それに対する回答等</b>		
<b>意 見・質 問</b>	<b>回 答</b>	
【1 報 告】 (1) 平成30年度総合評価落札方式の実施状況（H30. 5. 1～H30. 9.30）について  【2 審 議】 (1) 平成30年度総合評価落札方式の実施結果について [抽出された1件の工事について概要説明及び審議を行った。]  ①釧路港築堤（中）建設工事 （一般競争入札・施工能力評価型（I 型））  ・JVの場合の技術者の評価方法について確認したい。  ・技術提案書の当該工事での留意事項の内、盛土管理の留意事項に関して、一般的な施工範囲として評価する目安は如何に。  ・調査基準価格と比較して、ギリギリの範疇で入札されているものが見受けられる。本工事	※報告に対し、了解された。   （以下、応札者の提案又はその評価に係わる内容は技術提案に関する機密保持の観点から記載しておりません。）  ・申請している技術者（監理技術者）が1名の場合はその技術者で評価し、2者以上の申請があった場合は、評価点が最低値となった技術者の評価点を評価しています。  ・仕様書等に準拠した技術提案は一般的な施工範囲として評価しています。  ・標準的な施工歩掛で積算可能な工事です。受注意向も大きく働いて、入札結果になったもの	

委員からの意見・質問、それに対する回答等

意見・質問	回答
<p>にあつては、標準的な歩掛が策定されており、予定価格などの目安の金額が容易に積算できる状況にあるか。</p> <p>(2) 平成30年度建設コンサルタント業務におけるプロポーザル方式及び総合評価落札方式の実施結果について 〔抽出された3件の業務について概要説明及び審議を行った。〕</p> <p>① 釧路道路事務所管内 橋梁耐震設計外一連業務（簡易公募型プロポーザル）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術提案の評価結果について、最高点と最低点との得点差が大きい、この要因をどう捉えているか。</li> <li>・ 最も評価点が高くなった者は、管内での業務経験があり、地域情報を把握しているなど、技術提案書を作成する上で優位な条件を持ち合わせていて、それが評価の可能性に大きく繋がっていることは考えられないか。</li> <li>・ 選定された者が都合等により技術提案書の提出要請を辞退することは出来るのか。</li> <li>・ 管内に多数の橋梁が存在しているが、耐震設計、耐震補強に対する対策の優先順位は如何に。</li> </ul> <p>② 釧路川水系水位予測システム検討外業務（簡易公募型プロポーザル）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今までの観測地点毎に水位予測する方法から流域の上流から下流までを線的に水位予測する方法によるモデル作成することのだが、各々の河川によっては調整池、ダム、遊水地があるなど、様々な地域特性が想定される。この業務では、そういった地域特性を評価し、モデルが作成されることとなるか。</li> <li>・ いつ頃から全国で統一した予測システムの方方向に移行するとされたのか。また、今後のスケジュールは如何に。</li> </ul>	<p>と想定されます。</p> <p>(以下、応札者の提案又はその評価に係わる内容は技術提案に関する機密保持の観点から記載しておりません。)</p> <p>※提出された技術提案に対しての評価の視点、内容について説明(業務内容、評価テーマを踏まえて、技術提案書にどの程度理解、反映されているかなど)し、想定される要因について了解いただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務経験があつて、それが技術提案書を作成する上で優位であったか否かは不明ですが、地域条件、現場条件の情報を持ち合わせていたのかもしれない。</li> <li>・ 辞退するケースはあります。</li> <li>・ 大規模地震の発生確率が高い地域を優先して整備する計画としております。</li> </ul> <p>・ 基本的なモデルについては各河川統一されますが、各々の河川での流域や河道の特性がありますので、そういった地域特性を考慮して独自のモデル検討を行います。</p> <p>・ 近年の大雨等から、全国的に色々な課題が見えてきたので、基本となる予測モデルを全国統一で作成します。今後のスケジュールとして、今年度中には概ねシステムが稼働できるまで整備をし、来年度には試行しながらの運用とし、本格的な運用</p>

委員からの意見・質問、それに対する回答等

意見・質問	回答
<p>・システムとして、プログラムは全国統一となるか。</p> <p>・特定テーマに対する技術提案で、実現性として類似実績という項目があるが、入札説明書に示している評価の判断基準と評価の内容に乖離があるように見受けられるがどうか。</p> <p>③阿寒地区 区画整理阿寒第1工区設計等業務（簡易公募型競争入札・総合評価落札方式（簡易型））</p> <p>・価格評価点について、配点として60点を配分しているが、結果として入札額が0円であれば満点の60点にはならないことから、評価値の考え方、算出方法として不適切と考えられないか。 価格評価点、技術評価点が1：1の配分とした総合評価の簡易型であるが、結果として技術評価点が重視されていることは理解できるものの、現実として入札額の0円はあり得ないので、調査基準価格をベースとした価格評価点の算定方法も一考では。</p> <p>・この業務で換地計画は行われるか。</p> <p>【上記、工事・業務について適切な評価と認める。】</p>	<p>はまだ先となる見通しですが、早い段階での運用を考えていると聞いてます。</p> <p>・基本的な計算手法は統一されますが、プログラムは各々の河川で流出形態に合致するかを検討し、作成します。</p> <p>※技術提案に対しての評価の視点、内容を説明（類似実績が明確化されているかなど）し、入札説明書に示している評価の判断基準と合致していることを了解いただいた。</p> <p>・評価値の算定方法は全国統一で行われており、北海道開発局単独での評価点算出は行われていません。</p> <p>・事業の中で換地を行いますが、この業務では換地計画は行いません。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>